

こまき市民文化財団情報誌

みんなで育てよう、こまきの文化

# こまき文化

創刊号

2017.11.1

はじめまして、  
こまき市民文化財団です。



こまき市民文化財団設立記念

「森山良子コンサートツアー2017～2018

五十一番目の星に向かって ～Sing My Life」

特集

森山良子インタビュー

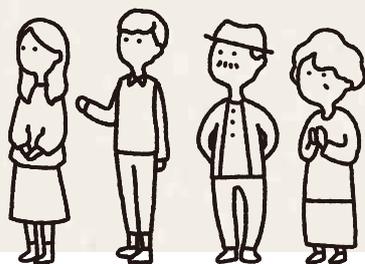
はじめまして、

こまき市民

文化財団です。

こまきで文化の木を育てよう！

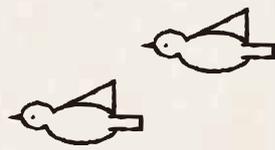
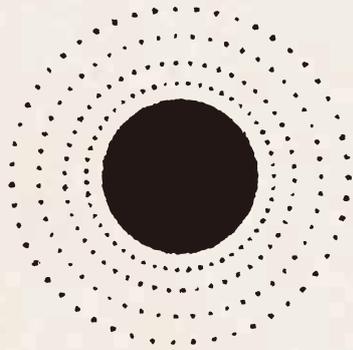
こまき市民文化財団は、市民のみならず、自主的な文化・芸術活動を支え、ともに新しい小牧の文化・芸術を創っていくことを目指して産声をあげました。古くからの伝統文化を大切にし、新たな文化・芸術、学びに触れる機会をお届けします。文化・芸術、学びをとってお世代をこえ、地域の中につながりが芽生え、小牧のまちづくりに貢献することを胸に活動を進めてまいります。



#### 設立式典&設立記念イベントを開催しました

2017年5月28日、小牧市市民会館にて、こまき市民文化財団設立記念式典が行われました。開式では「市民の自主的な文化活動を支援し、市民とともに新しい小牧の文化を創っていくことを目的として、ここに『こまき市民文化財団』を設立いたします」と宣言。記念イベントでは、文化財団がプロデュースする新しい形のコラボレーションとして、中部フィルハーモニー交響楽団、小牧市文化協会加盟の小牧三曲連盟、かやの木芸術舞踊学園 舞踏ゆきこま会による三者共演が披露されました。





小牧市には、1,300人を超える会員数を誇る文化協会をはじめ、多くのみなさまがさまざまなかたちで文化・芸術、伝統文化に親しんでいます。また、メナード美術館や中部フィルハーモニー交響楽団など、特色のある豊かな文化にあふれています。

このように文化・芸術、学びに恵まれた環境をさらに発展させ、みなさまとともにより多くの文化・芸術の感動に触れ、未来に歩みを進めたい。それが、こまき市民文化財団の思いです。

こまき市民文化財団は、情報誌「こまぶん」を通じて、文化・芸術、学びに関する魅力的な情報を広く発信していきます。



音楽



舞台



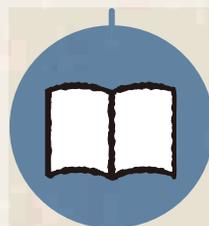
美術



伝統文化

こまき市民文化財団情報誌

# こまぶん



学び



文化団体



施設・ホール



市民



小牧市文化協会などの文化団体と連携・協力し、様々な教室やワークショップなどを開催していきます



森山良子 インタビュー

# 歌うことは私の人生。

こまき市民文化財団設立記念として、

11月23日に小牧市市民会館で行われる

「森山良子コンサートツアー2017～2018

五十一番目の星に向かって～Sing My Life」。

昨年、50周年を迎えた森山良子さんに、コンサートへの意気込みや、歌うことに対する思い、歌へのこだわりなど

お話していただきました。



## お客さまが聴きたい曲と、私が歌いたい曲

「さっそくなんですけど、今回小牧で行われるコンサート」五十一番目の星に向かって～Sing My Life」について、教えてください。

「はい。まず、昨年は50周年ということと、すべてのコンサート会場でお客さまにどんな曲がお聴きになりたいのか事前にカードで書き込んでいただいて。コンサートがはじまってからガラガラッと機械で集計して、当日中に歌う…という、割と壮大な企画を行ったんです」  
 「当日にアンケートを取って歌うって…すごい企画ですね。」

「そうなの。毎公演どの曲がランキングに入るかわからないから、ミュージシャンと一緒に毎日100曲くらい練習してね」  
 「100曲も…!？」

「何がきてもすぐパツとできるようにね。準備も大変で、あんなにドキドキしたコンサートは50年間ではじめてでしたけれど、皆さんがどんな曲をお聴きになりたいのかを数字で表していただけたことは、私にとっての財産になりました。」

## プロフィール

1967年「この広い野原いっぱい」でデビュー。「禁じられた恋」をはじめ「涙そうそう」、「さとうきび畑」、「あなたが好きで」など、数々のヒット曲を生み出す。2002年、第44回日本レコード大賞において最優秀歌唱賞、金賞（「さとうきび畑」）、作詩賞（「涙そうそう」）を受賞し3冠を達成。2008年、「紫綬褒章」受章。2017年3月、デビュー50周年記念単行本「森山良子 夢の住家～Sing My Life」を出版。歌手活動の傍ら、ラジオのパーソナリティー、女優、声優を務めるなど、幅広いフィールドで活躍。

「今年のコンサートは、その統計をもとに構成しています。たぶん、皆さんがお聴きになりたい曲が並んでいます。もちろん例外もあって、ランキングでは下のほうだったけれど、どうしてもこれは歌いたい、これは聴いていただきたいっていうようなものもあるんですけれど（笑）。皆さんがお聴きになりたいものと、私はどうしても歌いたいものとが合わさった、そんなコンサートになると思います」  
 「今から楽しみです！」

## インタビューこぼれ話

「小牧の名物は何ですか?」という森山さんの問いに、「しるこサンド(松永製菓)が有名です」と伝えると、「ああ～!しるこサンド!あれ、小牧のお菓子だったんですね!とってもおいしいですよね」とニコリ。  
 「地元のおいしいものをたくさん食べて、コンサートもがんばります!」と、メッセージをいただきました!



## 簡単なことより大変なことの方が面白い

「森山さんの長い歌手生活のなかで、苦労したこともたくさんあると思うのですが…」

「うん…。つらかったこと、あまりないんですよね」

「えっ。」

「私、苦労はつきものだと思っているんです。苦勞しない大変じゃない仕事っていうのは、あんまり面白くないですね。重くてヘビーで「これ、できるかなあ？」と自分が不安になるようなことでも、ひたすらに練習したり勉強したりして、それがクリアできたときに「やればできるんだ」という風に自信につながると思うんですよ」

「私も若いころは「無理かもなあ」って大変なことからさっさと向いたり、逃げちゃったりしたんですけど、それって色んなことに対する引き出しが少ないからなんですよね。でも歳を経てキャリアを積むと、「やればできる」って思えば、できないことはない」という経験値が増えて、あたらしい引き出しが増えたりする。なので、



自分自身が少しでもステップアップできることがあるのだとしたら、むしろ大変なことのほうが面白いと感じますね」

「その考えは、すべての物事に通じるように思っています。」

「そうですね。プライベートでも、デビューしてまもなく兄の死、結婚、離婚があって、私がお色んな葛藤がありつつも今まで歌手活動を続けることができたというのは、やっぱり歌があったから、歌に救われたからだと思うんです。どんなときでも、歌が救いになって、平気な気持ちに戻してくれたというかね。お客さまの声援もそうですし。つらいことは全部、歌が消してくれているんです」

## お客さまから声援を受けたとき「自分は生きていく」と感じた

「さきほど、キャリアを積む中で、プライベートな変化がいくつかあったとお話がありました。」

「22、23歳くらいかな。恋愛をして、結婚、出産も経験しました。そのときは、「歌から離れてみるのもいいんじゃないかな」と思って、きっぱり歌手活動を辞めたんです」

「そうだったんですね。」

「でも歌から離れた一年半は、なんとなく自分の半分だけでしか生きていないような感覚がずっと自分のなかにあって。そんなとき、当時の音楽仲間が「一緒にまた音楽をやろう」と誘ってくれて、再び日生劇場のステージに立つことに

なりました。ステージで歌を歌い終えたとき、

お客さまからとっても大きな声援をいただいて、その瞬間、自分の空っぽだった部分が満ちたんですね。「ああ、自分は生きていく！」って、自分自身の存在を確かめられたというか…

自分にとって音楽がどれほど大事なのかを、生まれて初めて気づいた瞬間でもあった」

「昔は身近にありすぎて分からなかったけれど、離れてみて分かったんですね。」

「はい。そのときに「私はもう二度と歌を辞めるなんてことは言わない」と決めましたし、それからは「歌を歌うことは私の人生なんだ」という風に思っています」

## 誰も気づかないような細かいところにもこだわりた

「森山さんの代表曲の一つに「さとうきび畑」があります。この「さわわ、さわわ」というフレーズを聴くだけで、沖繩の広いさとうきび畑が想像されます。何年経っても変わらない美しい歌声と発音は、どのようにして生まれたのでしょうか。」

「小さいころから、父には「どんなにきれいな声で歌っても言葉が美しくなければ、歌は伝わらないよ」と言われていて、発音に関してはとても厳しいチェックを受けていました。それとは別に、中学二年生のときからクラシックの音楽を習いました。その先生には日本歌曲はもちろん、さまざまな国の歌を教えていただきましたが、日本語の言葉の使い方や言葉の発音はとくに教えていただきましたね」

「小さいころから歌唱の基礎があったんですね。」

「時代とともに音楽性も音楽観も変わっていきますけれどね。昔は「さとうきび畑」の「さわわ」という発音も、ちゃんとはじめの「ざ」を歌わなければいけないという風に思ってたんですね」

「それで先生に相談したら、「すべて「ざわわ」の出だしを強く歌うんじゃないって、「ざ」の音を一度引いてみたほうが、また違う「ざわわ」の表現になるんじゃない？」ってアドバイスをいただいたんです。一見、誰も気づかないような小さいことなんですけれども、そういう細かいところにこだわりの自分から歌うことが、よりよい明日へつながる自分の一歩だと思っていますね」

### 2017.11.23(木・祝)開催 森山良子コンサートツアー 2017~2018 「五十一番目の星に向かって ~Sing My Life~」

場所 / 小牧市民会館  
時間 / 16:00 開演 (15:30 開場)  
料金 / S席 5,500円 A席 4,000円 U25(25歳以下) 2,500円  
アートフレンド会員 500円引き

#### CD発売中



ファンが選んだベストソング！  
デビュー当時のオリジナル録音から最新のライブ音源、さらに「さとうきび畑」の新録音まで、輝き続ける森山良子の51年。

#### 「森山良子 オールリクエスト」 Ryoko Moriyama ALL REQUEST

2017.9.27発売 MUCD-1394/5 (2枚組) ¥3704+税

森山良子  
Concert Tour 2017-2018  
五十一番目の星に向かって  
~Sing My Life~

2017.11.23 16:00開演 (15:30開場)  
小牧市民会館 大ホール

5,500円 4,000円  
2,500円

地域に根ざした

丁寧な普及活動を。

# 中部フィルハーモニー交響楽団

お話を伺った方



事務局広報担当  
坂下さん

日本オーケストラ連盟に加盟している愛知県のプロオーケストラは3つ。そのうちのひとつが小牧に拠点を置いていることを、みなさんはご存知ですか？

中部フィルハーモニー交響楽団（以下、中部フィル）は、2000年に小牧市交響楽団として設立され、中部圏の音楽芸術文化の振興と向上を目的に各市町で演奏活動をスタート。05年の「愛・地球博」閉会式およびファイナルコンサートで、その名が広く知られるようになりました。07年に現在の名称に改名し、日本オーケストラ連盟に加盟。名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団に続く愛知県下で3番目のプロオーケストラとなり、現在に至ります。

芸術監督・首席指揮者は、秋山和慶氏。小澤征爾や山本直純と同じく桐朋学園大学の齋藤

秀雄の門下生であり、国内外のさまざまな交響楽団で音楽監督や指揮者を歴任。日本指揮者協会5代目会長でもある、文字通りのマエストロ（巨匠）です。

秋山氏の指揮による定期演奏会や趣向を凝らした特別演奏会を年間10回ほど開催するかわら、中部フィルが力を入れているのが子どもたちへの音楽普及活動。こまき市民文化財団との連携により、フルオーケストラによる小中学校の巡回演奏会や、弦楽カルテットなど小編成による幼稚園・保育園の演奏会を実施しています。

「現在、市内すべての小中学校を2年から3年に1回のペースで巡回しています。中部フィルは、日本のプロオーケストラの中で最も人口が少ない都市に拠点を置いています。だからこそ、地域に根ざした丁寧な普及活動ができると考えています」

そう語るのは、事務局広報担当の坂下冴子さん。「子どもたちが初めて体験するオーケストラの迫力に目を丸くする表情は、何度見ても新鮮です」と笑顔で続けます。

もちろん定期演奏会・特別演奏会の予定も、すでに来年まで



びつしり。近いところでは12月16日の特別演奏会『青島広志のメリークリスマス』や来年2月17日の定期演奏会『秋山和慶・辻彩奈の麗しの「メンコン」』が祖国

のほかに、リクエストで演奏曲を決める春日井市での名曲コンサート、岐阜でのニューイヤ

コンサートなどが予定されています。中でも小牧市市民会館で開催されるクリスマスコンサートは「テレビでおなじみの青島先生の楽しいトークや、会場のみんなで歌うコーナーも用意されておりますので、小さいお子さまからご年配の方までご家族で楽しめると思います」とのこと。

とにかく「難しそう」と苦手意識を持たれがちなクラシック音楽ですが、最近では映画や漫画の題材になることも増え、若い人たちの興味が少しずつ向きはじめていることを実感するという坂下さん。



フルオーケストラによる小中学校の巡回演奏会や、小編成による幼稚園・保育園の演奏会を実施

「厳しいオーディションを勝ち抜いたプロの演奏家が指揮者のタクトの動きにびつたり寄り添って音を奏でる。その様子は何度見ても魔法のようです。みなさまの住む街にこんな楽団がいるということ、を、広く知っていただきたいですね」

一度お近くの演奏会に足を運んでみてはいかがでしょうか。



**2017.12.16(土)開催**  
**特別演奏会**  
**『青島広志のメリークリスマス』**  
場所/小牧市市民会館  
時間/15:00開演(14:15開場)  
料金/一般 3,000円 学生券 1,000円 未就学児券 500円  
主催/中部フィルハーモニー交響楽団  
問い合わせ/中部フィルハーモニー交響楽団 TEL0568-43-4333



Ayana Tsuji\_大杉隼平

**2018.2.17(土)開催**  
**第59回定期演奏会**  
**『秋山和慶、辻彩奈の麗しの「メンコン」』**

場所/小牧市市民会館  
時間/14:00開演(13:15開場)  
料金/プラチナ席 5,300円 S席 4,300円 A席 3,300円 B席 1,800円  
学生券 1,000円(当日指定)  
主催/中部フィルハーモニー交響楽団  
問い合わせ/中部フィルハーモニー交響楽団 TEL0568-43-4333



芸術監督・首席指揮者/秋山和慶氏

オススメ  
EVENT



2017.12.9(土)開催  
NEO Japanesque  
Winter コンサート  
青龍の響き

(ネオジャパネスク ウィンターコンサート 青龍の響き)  
場所/ 味岡市民センター  
時間/ 14:00 開演 (13:30 開場)  
料金/ 一般 2,000円 U25 (25歳以下) 1,000円  
アートフレンド会員 一般 1,500円 U25 (25歳以下) 800円

日本の価値観を復活させることを目的に結成された和洋楽器混成ユニット「NEO Japanesque」(ネオジャパネスク)。篠笛や和太鼓、尺八など日本古来の伝統楽器である「和楽器」と、キーボード、ドラム、ベースなどの「洋楽器」を組み合わせたバンドサウンドは、まさに和洋折衷です。

2016年の12月に、全米にて『Neo Japanesque』をリリースし、2017年の5月にはアメリカツアーで延べ2万人を超えるお客さんを熱狂させました。「音の情景描写」と称される彼らの圧倒的なパフォーマンスを、ぜひ会場で体感してください。



和楽器の和太鼓・篠笛・尺八と、洋楽器のキーボード・ドラム・ベースで構成された5人編成のバンド。日本の伝統音楽の復活を願い、『新しい日本の音楽』という意味を体現するべく結成された。全米でCDをリリースし、2017年の5月にはアメリカツアーを行うなど、国内外問わず数多くのライブ・イベントに出演。

2017  
12.9  
sat

和楽器と洋楽器のコラボレーション！  
圧倒的なパフォーマンスに心揺れる

オススメ  
EVENT



2018.2.3(土)開催  
JAZZの森 -ジブリxジャズ-  
junko with S.B.A.B.

場所/ 東部市民センター  
時間/ 16:00 開演 (15:30 開場)  
料金/ 一般 2,500円 U25 (25歳以下) 1,000円  
アートフレンド会員 一般 2,000円 U25 (25歳以下) 800円



シンガー「junko」と、ギタリスト砂掛康浩をリーダーとするアコースティックジャズバンド「S.B.A.B.」。2011年よりスタジオジブリの名曲をジャズアレンジした[JAZZの森-ジブリジャズ-]の活動をスタート。2012年にはアルバムもリリース。



S.B.A.B.



junko

「壮大な空間アート」「ジブリ音楽」「ジャズアレンジ」が融合したコンサート「JAZZの森」。「森」をテーマとしたインスタレーションアートで作りに上げられた会場のなか、junko with S.B.A.B.が、のびやかな歌声と大胆なジャズアレンジで「風の通り道」となりのトトロ(「や」「いつも何度でも(千と千尋の神隠し)」などといったスタジオジブリの名曲を演奏します。目で、耳で楽しめる、ジブリ好きな方必見のコンサートです。

2018  
2.3  
sat

幻想的な空間アートとジャズ音楽で  
スタジオジブリ作品の世界に  
どっぷり浸ろう！

オススメ  
EVENT



2018.2.24(土)開催  
アートフレンド小牧自主文化事業  
-アンデスの風に乗って-  
Project NAZCA

(プロジェクト・ナスカ)  
場所/ 小牧市民会館  
時間/ 14:00開演 (13:30 開場) ※アートフレンド会員は13:15先行開場  
料金/ 無料(要整理券)  
※整理券は、12月21日(木)9:30~  
味岡・東部・北里の各市民センター、市民会館、まなび創造館にて発券します。



「Project NAZCA(プロジェクト・ナスカ)」は、中南米に伝わる伝統文化・音楽の普及活動を目的に結成されたフォルクローレユニット。兄弟ユニット「アマンカイ」のパブロ、エフラインと、日本を拠点としてソロ活動を行っているアントニオ・カマケの3人で構成される。

メキシコやペルー、エクアドルなどのアンデス地方の民族音楽「フォルクローレ」を、日本を拠点として活動するフォルクローレユニット「Project NAZCA」(プロジェクト・ナスカ)が披露します。縦笛のケーナや、葦(あし)を管にしてつくられたサンポニーヤ、マンドリンに似た弦楽器のチャランゴなど、日本ではあまりなじみのない楽器が登場する中で、楽しみながら異国の民俗音楽に触れられるまたとない機会です。フォルクローレの魅力のひとつである多重奏の迫力と、三人の奏者が織り成す美しいハーモニーで、アンデスの風を感じてください。

2018  
2.24  
sat

中南米に伝わる民族音楽  
「フォルクローレ」を気軽に楽しめる

EVENT REPORT

音楽の絵本 ズーラシアンブラス&弦うさぎ  
7月30日 小牧市市民会館

演奏者はみんな動物!?  
まったくあたらしいクラシックコンサート

クラシックと聞くと、あなたは何を思い浮かべますか? 堅苦しい、敷居が高い、眠くなりそう...。「音楽の絵本 ズーラシアンブラス&弦うさぎ」は、そんなクラシックの印象をガラリと変えるコンサートでした。

絶滅危惧種の動物たちで結成された「ズーラシアンブラス」は、トランペット、トロンボーン、ホルン、チューバの金管五重奏。曲間で動物たちが生み出すコントまじりのかけあいには観ている思わず笑顔になります。ともに舞台を盛り上げる弦楽四重奏の弦うさぎは、四姉妹ということで、息がびつたりの演奏を披露してくれました。



舞台から聴こえてくる曲も、どこかで聴いたことがあるものばかり。「となりのトトロロメドレー」では会場が一体となって手拍子をするほど!クラシック好きはもちろん、普段コンサートに行かない人でも楽しめます。観客を飽きさせない演出とたしかに演奏で、子どもはもちろん大人でもクラシックのすばらしさに触れることができました。

クラシック初心者でも楽しめる工夫がいっぱいで、楽しかったです。

おうさかさん

曲の合間の劇にびっくり!



わたなべさん

EVENT REPORT

駒来落語会 桂春蝶 三遊亭 萬橋 二人会  
9月23日 北里市民センター

江戸と上方、東西の落語が激突!  
それぞれの個性が光る二人会

二代目桂春蝶を父に持ち、新作落語も精力的に発表している三代目・桂春蝶と、愛知県豊川市出身で2013年に真打に昇進した若手のホープ、四代目・三遊亭萬橋。東西で人気を博している噺家が、9月23日に北里市民センターで二人会を開催しました。



桂春蝶



三遊亭 萬橋

利のよう!口から生まれたかのような萬橋師匠のしゃべりに、お客さんは爆笑の連続です。

仲入り(休憩)を挟み、萬橋師匠が「熊の皮」、トリには春蝶師匠が新作のノンフィクション人情噺「エルトゥール号物語」を口演。春蝶師匠は「間」で魅せ、萬橋師匠は「話め」で魅せる...それぞれの個性が光る演目でした。

はじめに登場したのは先輩の桂春蝶師匠。最近世間を騒がしているネタで会場をわかせたあと、古典落語の名作「紙入れ」へ。春蝶師匠演じる「おかみ」の魔性っぷりに脱帽!会場はあつという間に引き込まれていきます。つぎに、三遊亭萬橋師匠が「寄合酒」を披露。次から次へ登場人物が入れ替わり、まるで一人大言

楽屋小話

春蝶師匠:「落語は、笑いもあればホロっと泣けるような噺もある、幅広く楽しんでいただけるものです。今日来てくださったお客さまがそれを多くの人に広めていただけたら幸いです」

萬橋師匠:「憧れの先輩と二人会ができてただけでうれしいね。いつか「愛知といえば萬橋」といわれるようにがんばりたいです」

WORK SHOP REPORT

メナード美術館連携事業  
日本画に挑戦!親子で和紙に花の絵を描こう  
6月4日 まなび創造館・多目的室

気分は日本画家!?  
親子で楽しくワークショップ

メナード美術館とこまき市民文化財団の連携事業として開催した、日本画のワークショップ。名古屋造形大学の濱田樹里先生と学生たちが講師をつとめ、小学生から70歳までの幅広い世代の40名ほどが参加しました。日本画に使う絵の具で色塗りした和紙を、水中で揉み洗いで色を出し「揉み紙」と呼ばれる技法を体験したのち、その紙の上にバラやひまわりなどの花を描いたり、金箔を飾るなどして、思い思いの作品に仕上げました。



完成した作品は、まなび創造館内の市民ギャラリーで6月5日から6月11日の一週間展示されました。



講座  
REPORT

夏休み子ども文化体験教室「お茶の文化を生活に」  
7月28日・29日 中部公民館茶室・和室  
主催 小牧市文化協会

「日本の心」を伝えていく  
子どもたちにお茶を通じて

小牧市文化協会がジュニア育成の一環としてはじめた「夏休み子ども文化体験教室」。茶道の講座では、まず初めに、和室での立ち方、座り方、礼の仕方などのマナーを学びます。

そのあと3グループに分かれて、実際に「お茶のたて方」「お茶のいただき方」「茶室でのマナー」を体験しました。和室に正座をして並んだ子供たちは、いつもより厳かな気分。はじめてのお抹茶に「やっぱり苦い」「おもったより苦くない」などさまざまな感想を述べ、飲み終わると「大変けっこうでした」と慣れない一言で締めくくります。



「お茶の基本は、集った人々が心地よく触れ合えるために相手への感謝や敬意が大切。おいしいお茶が更においしくいただけます」と先生に教えていただきました。

参加した子供たちは「今日からきちんとお箸を持って食事をしたい」「良い姿勢は見てきていだから気を付けて生活したい」と話していました。

講座  
REPORT

夏休み子ども文化体験教室「リトミックバレエ」  
8月22日 まなび創造館・多目的室  
主催 小牧市文化協会

音に合わせて  
体を動かす楽しさを体感!



小牧市文化協会の夏休み子ども文化体験教室の最後を締めくくる「リトミックバレエ教室」には、小学校の低学年から高学年まで、約30人の子どもたちが参加しました。

からだがか  
やわらかく  
なりました!



ひらてりこちゃん(11才)

ギャロップ  
(横向きスキップ)が  
すごく楽しかった



よしのれなちゃん(6才)

まずは準備体操です。柔軟だけでなく、正しい姿勢や歩き方などを、数人の講師が一人ひとりに声をかけてレクチャーしていきます。しっかりと体をやわらかくします。しっかりと体をやわらかくしたら、低学年と高学年の2つのグループに分かれ、いよいよダンスの練習です。先生のお手本をしっかりとみながら、曲に合わせて一生けん命振り付けを覚える子どもたち。講座の終わりには、「バナナの親子」と「勇氣100%」をお互いに発表しました。

「姿勢の悪い人よりも、良い人のほうがカッコいいよね」と先生が話すと、子どもたちは大きくうなずいていました。参加した子どもたちにとって、楽しい夏休みの思い出になったことでしょう。

20周年を迎えた音楽家・演奏家集団

ポルトメント小牧

音楽で、  
人と人をつなぐ。



活かされます」とのこと。同じく小牧に拠点を置く中部フィルハーモニー交響楽団との連携も多く、小牧市内すべての幼稚園・保育園を中部フィルのアンサンブルとポルトメント小牧の音楽家出張演奏するなど、なくてはならないパートナーシップを築いているそうです。



「もともと音大でクラシックを勉強していたのですが、今はジャズのスタンダードも「アナ雪」も楽しんで歌っています」  
会長で声楽家の中根直子さんがそう話すように、コンサートの音楽ジャンルは実に多彩。「クラシックはもちろん、ジャズ、ポップス、尺八や琴を使った邦楽まで、80名の豊富な人材がフルに

「ポルトメント」は「音と音をつなぐ」という意味の音楽用語。音楽で人と人をつなぐポルトメント小牧の活動に、今後大注目です。

Portamento  
20th Anniversary

こまき市民  
文化財団の  
シンボルマークが  
決定しました！



## こまき市民文化財団

この3名の方の作品が  
最優秀賞ならびに  
優秀賞となりました！



### 横山 将和さん

小牧市在住(44歳)



### 落合 凜さん

小牧市在住(8歳)

### 高橋 知子さん

春日井市在住(22歳)

5月初め、文化財団の象徴となるシンボルマークを募集することになりました。

シンボルマーク募集のチラシ・ポスターや、市のホームページにおいてお知らせし、全国各地から応募総数218点の作品が集まりました。

#### シンボルマーク 最優秀作品選考について

今回、最終選考の中から、最優秀作品として横山さんの作品を選んだ理由としては、この作品の中に『文』という文字が含まれていることが理由の一つです。『文』という文字には、人と人が支え合うという意味も込められています。

「小牧の文化」ともいえる人たちが支え合っています。

そんな理由から文化財団の思いに、ピッタリなこの作品が選ばれました。シンボルマークはホームページや公演チラシなどみなさまの目にふれるところで活用していきます。

たくさんのご応募ありがとうございました！

こまぶん  
編集企画

pick up

こまぶん!  
漆工芸家

浅井啓介さん



## 漆器で自分を表現する。

「もともと格闘技や音楽が好きで、家業の漆器づくりには興味がありませんでした。しかし修行先の輪島で、表現する楽しさを知ったんです」

漆工芸家の浅井啓介さんは、小牧市新町にある浅井工業所の3代目。この地で生まれ、18歳で石川県輪島市の佐藤幸一氏に師事。金粉や銀粉で漆器の表面に絵模様をつける「蒔絵」を学びました。格闘技が好きでもプロレスラーにはなれない。音楽が好き

でもミュージシャンにはなれない。でも蒔絵でなら自分を自由に表現することができるとも思えない。そう考えた浅井さんは輪島から戻った後、祖父の嘉翁さん、父の源一郎さんから塗師の技を受け継ぐとともに、本格的に日本画を勉強。日常漆器だけでなく、作家性の強い抽象作品も制作するようになりまし

その作品は日本現代工芸美術展の大賞を受賞したほか、さまざまな展示会で高い評価を得ています。

「敬愛するポップ・ディランの音楽は、ライブのたびに別の曲かと思うほどアレンジが変わります。だから私もそれに習って、自分の作品が一定のイメージにとらわれないよう心がけています。ゴールの見えた作品をそのまま仕上げていくのは、作り手として楽しくありませんから」

現在は浅井工業所に併設された「漆ギャラリー あさい」で漆器や作品を常設展示するとともに、不定期で漆器を使ったカフェ



やライブを開催。その一方で、小牧と知立、名古屋で漆教室を開講するなど、漆文化の普及に尽力されています。

「漆器は英語で"lacquer"と呼ばれる、国を代表する伝統工芸です。それに関わる者として、自分ができることは何でもやっていきたいと思っています。小牧という街には、それをやらせてくれる寛容な雰囲気があるんです」



#### 漆galleryあさい

〒485-0013  
愛知県小牧市新町1-172  
TEL 0568-76-2440

#### 編集後記

こまき市民文化財団情報誌「こまぶん」がどうにかデビューできました。意外にネーミングって難しいんですね。「こまぶん」のほかにもいろんな名前が飛び交っていましたが・・・いろんな方の意見を参考に、最後の最後に決まった「こまぶん」。ベタと言われればベタですが、単純明快で、わかりやすさと親しみやすさで言えば、これしかないと思います。みんなに愛される「こまぶん」をめざしますので、みなさまの温かい応援をお願いします！ 担当：野中



事業・広報営業グループ

**11月** 2017 November

10/29 日  
**第58回小牧市民美術展**  
 会場:まなび創造館 アリーナ(5階)・市民ギャラリー(4階)  
 時間/10:00~19:00 (11/5は16:00まで)

11/5 日

11/19 日  
**小牧市文芸協会創立45周年 記念講演会** 無料 (当日先着順)  
 「読書が自分をつくった 自分を支えた」講師/副島孝  
 会場:まなび創造館あさひホール 時間/13:30 開演 (13:00 開場)  
 主催:小牧市文芸協会

11/23 木祝  
**森山良子コンサートツアー2017~2018**  
 五十一番目の星に向かって ~Sing My Life  
 会場:小牧市市民会館 時間/16:00 開演 (15:30 開場)  
 料金 S席/5,500円 A席/4,000円 U25(25歳以下)/2,500円  
 アートフレンド会員/500円引き

**12月** 2017 December

12/3 日  
**小牧市民舞台芸術祭** 無料 (要整理券)  
 出演:小牧市ジュニア演劇クラブ「スターマン」  
 会場:北里市民センター 時間/14:00 開演 (13:30 開場)

12/3 日  
**第40回小牧民謡まつり** 無料 (当日先着順)  
 会場:小牧市市民会館 時間/10:30 開演 (10:00 開場)  
 主催:小牧市民謡連盟

12/9 土  
**躍動する和洋楽器混成グループ NEO Japanesque**  
**Winterコンサート青龍の響き**  
 会場:味噌市民センター 時間/14:00 開演 (13:30 開場)  
 料金 一般/2,000円 U25(25歳以下)/1,000円  
 アートフレンド会員 一般/1,500円 U25(25歳以下)/800円

12/10 日  
**小牧市民舞台芸術祭** 無料 (要整理券)  
 出演:東部演劇サークルエチュード「えちゅーど むかしばなし」  
 会場:東部市民センター 時間/14:00 開演 (13:30 開場)

12/16 土  
**中部フィルハーモニー交響楽団 特別演奏会**  
**「青島広志のメリークリスマス」**  
 会場:小牧市市民会館 時間/15:00 開演 (14:15 開場)  
 料金 一般/3,000円 学生券/1,000円 未就学児券/500円  
 主催:中部フィルハーモニー交響楽団  
 お問い合わせ:中部フィルハーモニー交響楽団 TEL 0568-43-4333

12/17 日  
**サンデーコンサート【ポピュラー編】**  
 企画・運営・出演:ポルタメント小牧 無料 (当日先着順)  
 会場:東部市民センター 時間/14:00 開演 (13:30 開場)

**1月** 2018 January

1/13 土  
**第68回書き初め大会**  
 会場:1月13日(土)篠岡小学校 時間/9:30~10:30 受付  
 1月14日(日)小牧小学校 時間/9:00~10:30 受付  
 料金 800円  
 主催:小牧市書道連盟

1/14 日

1/28 日  
**小牧市民舞台芸術祭** 無料 (要整理券)  
 出演:ミュージカル劇団スパーク「ごきげんなすてご」  
 会場:味噌市民センター 時間/1回目 11:00 開演 (10:30 開場)  
 2回目 15:00 開演 (14:30 開場)

**2月** 2018 February

2/3 土  
**ジブリxJAZZ**  
**JAZZの森** -ジブリxジャズ junko with S.B.A.B.  
 会場:東部市民センター 時間/16:00 開演 (15:30 開場)  
 料金 一般/2,500円 U25(25歳以下)/1,000円  
 アートフレンド会員 一般/2,000円 U25(25歳以下)/800円

2/8 木  
**小牧市文化協会文化講演会** 無料 (当日先着順)  
 「小牧が生んだ昭和モダン文化人 作詞家 穂積久」  
 会場:まなび創造館あさひホール 講師/塚原立志  
 時間/13:30 開演 (13:00 開場)  
 主催:小牧市文化協会

2/11 日  
**第41回小牧民踊まつり** 無料 (当日先着順)  
 会場:小牧市市民会館 時間/10:30 開演  
 主催:小牧市民踊協会

2/11 日  
**第28回小牧市民音楽祭** 無料 (当日先着順)  
 会場:味噌市民センター 時間/13:30 開演 (13:00 開場)  
 主催:小牧市音楽連盟

2/17 土  
**中部フィルハーモニー交響楽団**  
**第59回定期演奏会**  
**『秋山和慶、辻彩奈の麗しの「メンコン」「わが祖国」!』**  
 会場:小牧市市民会館 時間/14:00 開演 (13:15 開場)  
 料金 プラチナ席/5,300円 S席/4,300円 A席/3,300円  
 B席/1,800円 学生券/1,000円(当日指定)  
 主催:中部フィルハーモニー交響楽団  
 お問い合わせ:中部フィルハーモニー交響楽団 TEL 0568-43-4333

2/18 日  
**サンデーコンサート【クラシック日本の心編】**  
 企画・運営・出演:ポルタメント小牧 無料 (当日先着順)  
 会場:味噌市民センター 時間/14:00 開演 (13:30 開場)

2/24 土  
**アートフレンド小牧自主文化事業 アンデスの風に乗って**  
**Project NAZCA** 無料 (要整理券)  
 会場:小牧市市民会館 時間/14:00 開演 (13:30 開場)  
 ※アートフレンド会員は13:15 先行開場  
 企画・運営:こまき市民文化財団友の会(アートフレンド小牧)  
 お問い合わせ:こまき市民文化財団「アートフレンド小牧」事務局  
 TEL 0568-71-9700

**3月** 2018 March

3/18 日  
**速報!開催決定!**  
**押尾コータロー コンサート**  
 会場:小牧市市民会館 時間/16:30 開演 (16:00 開場)  
 詳細は...Coming Soon!!

3/31 土  
**中部フィルハーモニー交響楽団 特別演奏会**  
**『オーケストラの日2018**  
**初めてのオーケストラコンサート』**  
 会場:小牧市市民会館 時間/15:00 開演 (14:15 開場)  
 料金 一般/3,000円 学生券/1,000円 未就学児券/500円  
 主催:中部フィルハーモニー交響楽団  
 お問い合わせ:中部フィルハーモニー交響楽団 TEL 0568-43-4333

**ロビーコンサート**

毎月第1日曜日(1月は第2日曜日)開催

**ふれあい音楽広場** 無料 (当日先着順)  
 出演:ポルタメント小牧  
 会場:味噌市民センター ロビー 時間/12:15~12:50  
 主催:ポルタメント小牧

11月11日(土)・12月23日(土)・1月7日(日)開催

**市民会館ロビーコンサート** 無料 (当日先着順)  
 会場:小牧市公民館 展示ロビー 時間/12:10~13:00  
 主催:小牧市施設活用協会

**メナード美術館**

12/24 日  
**開館30周年記念コレクション名作展**  
**メナード美術館30のテーマ I期(テーマ1~15)**

1/2 火  
**開館30周年記念コレクション名作展**  
**メナード美術館30のテーマ II期(テーマ16~30)**  
 I期展示 エドゥワール・マネ 《黒い帽子のマルタン夫人》  
 メナード美術館蔵

メナード美術館 情報  
 [開館時間]10:00~17:00(最終入館は16:30まで)  
 [休館日]月曜日(但し1/8,2/12は開館)、12/25(月)~1/1(月)、1/9(火)、2/13(火)  
 [入館料]一般 900円 高大生 600円 小中生 300円  
 [お問い合わせ]メナード美術館 [電話]0568-75-5787



こまき市民文化財団

## 2018年1月ホームページ公開(予定) イベント情報、文化団体情報など発信していきます!!

### チケット購入方法

#### 窓口でのチケットのお求め

下記の5か所に販売窓口がございます。※施設により開館時間、休業日が異なります。

- ・市民会館  
[受付時間] 9:00~20:00 ※月曜休館 [住所] 愛知県小牧市小牧2丁目107
- ・東部市民センター  
[受付時間] 9:00~17:00 ※月曜休館 [住所] 愛知県小牧市篠岡2丁目23
- ・味噌市民センター  
[受付時間] 9:00~17:00 ※月曜休館 [住所] 愛知県小牧市久保新町60
- ・北里市民センター  
[受付時間] 9:00~17:00 ※月曜休館 [住所] 愛知県小牧市下小針中島2丁目130
- ・まなび創造館  
[受付時間] 9:30~19:30 ※第3火曜休館 [住所] 愛知県小牧市小牧3丁目555

#### 電話予約

- ・こまき市民文化財団 TEL:0568-71-9700  
[受付時間] 9:00~17:00 ※月曜日定休  
[住所] 〒485-0041 愛知県小牧市小牧2丁目107

#### チケットぴあ

- ・チケットぴあ店頭購入  
コンビニエンスストア(セブン-イレブン、サークルK・サンクス)、  
ぴあのお店で直接ご購入いただけます。(別途発券手数料がかかります)
- ・お問い合わせ  
TEL:0570-02-9111 [受付時間] 10:00~18:00  
※お支払い、お受け取り方法などの詳細については、チケットぴあに直接お問い合わせください。  
なお、チケットぴあでの購入の場合、アートフレンド会員割引等はご利用いただけません。

### アートフレンド小牧(こまき市民文化財団友の会) メンバー募集!

#### 会費

1,000円(年間)

#### 会員特典

- ・コンサートなどの先行予約 ※公演によって対象外になる場合もございます
- ・チケット代金の割引 ※公演によって対象外になる場合もございます
- ・会員交流研修会への参加
- ・会報による情報提供
- ・アートフレンド小牧自主文化事業のご招待および先行入場

#### 入会お申込み方法

お申込みの際は、申込書と年会費をお持ちください。  
下記施設の窓口にてご入会いただけます。  
市民会館・東部・味噌・北里の各市民センター、まなび創造館

#### 会員期間

4月1日から翌年3月31日までの1年間です。

#### お問い合わせ

TEL:0568-71-9700  
こまき市民文化財団「アートフレンド小牧」事務局

## 一般財団法人こまき市民文化財団

Facebook  
@bunka.komaki

HP: [www.komaki-bunka.or.jp](http://www.komaki-bunka.or.jp) (2018年1月公開予定)  
TEL:0568-71-9700 MAIL: [info@komaki-bunka.or.jp](mailto:info@komaki-bunka.or.jp)  
事務局(小牧市市民会館内) 〒485-0041 小牧市小牧2丁目107  
営業時間:8:30~17:15  
休業日:月曜日、年末年始(12月29日~1月3日)



#### 交通のご案内

- 電車…名鉄小牧線  
「小牧駅」下車徒歩約10分
- お車…名神高速道路  
小牧ICから国道41号・  
国道155号で約2.5km